

ー豚、いのししを飼育されるみなさまへー

海外から伝染病を侵入させないために

～ アフリカ豚熱や口蹄疫の発生予防対策 ～

近隣諸国ではASF（アフリカ豚熱）や口蹄疫の発生が継続して確認されています。

グローバル化が進み、諸外国との人や物の動きが激しい現代では、国内への病原体の侵入・まん延のリスクは高いといえます。人の新型コロナウイルスがまたたくまに世界に拡大したことから、おわかりいただけたと思います。

そこで、海外から伝染病を侵入させないために、あらためて、次の3点についてお願いします。

- 1 ASFや口蹄疫の発生地への渡航は自粛。
- 2 畜舎内に部外者や野生動物を入れない。また、畜舎に入るときは手指や履き物の消毒徹底。
- 3 毎日の健康観察。異常発見時は家畜保健衛生所にすぐ連絡。

●最近のASF,口蹄疫事件簿

- H30.8に中国で発生したASFは、H31.4には中国全土に拡大。
- モンゴル、ベトナム、香港、韓国、フィリピンでもASF発生。
- 日本に輸入されそうになった肉製品からASF遺伝子を検出（88事例）。
- R01.12に中国（牛、O型）、ミャンマー（牛、A型）で、R02.1にロシア（牛・豚、O型）で口蹄疫発生。
- H30から国内で流行したCSF（豚熱）は、東アジアから日本に侵入したウイルスによるもの。

注目!

